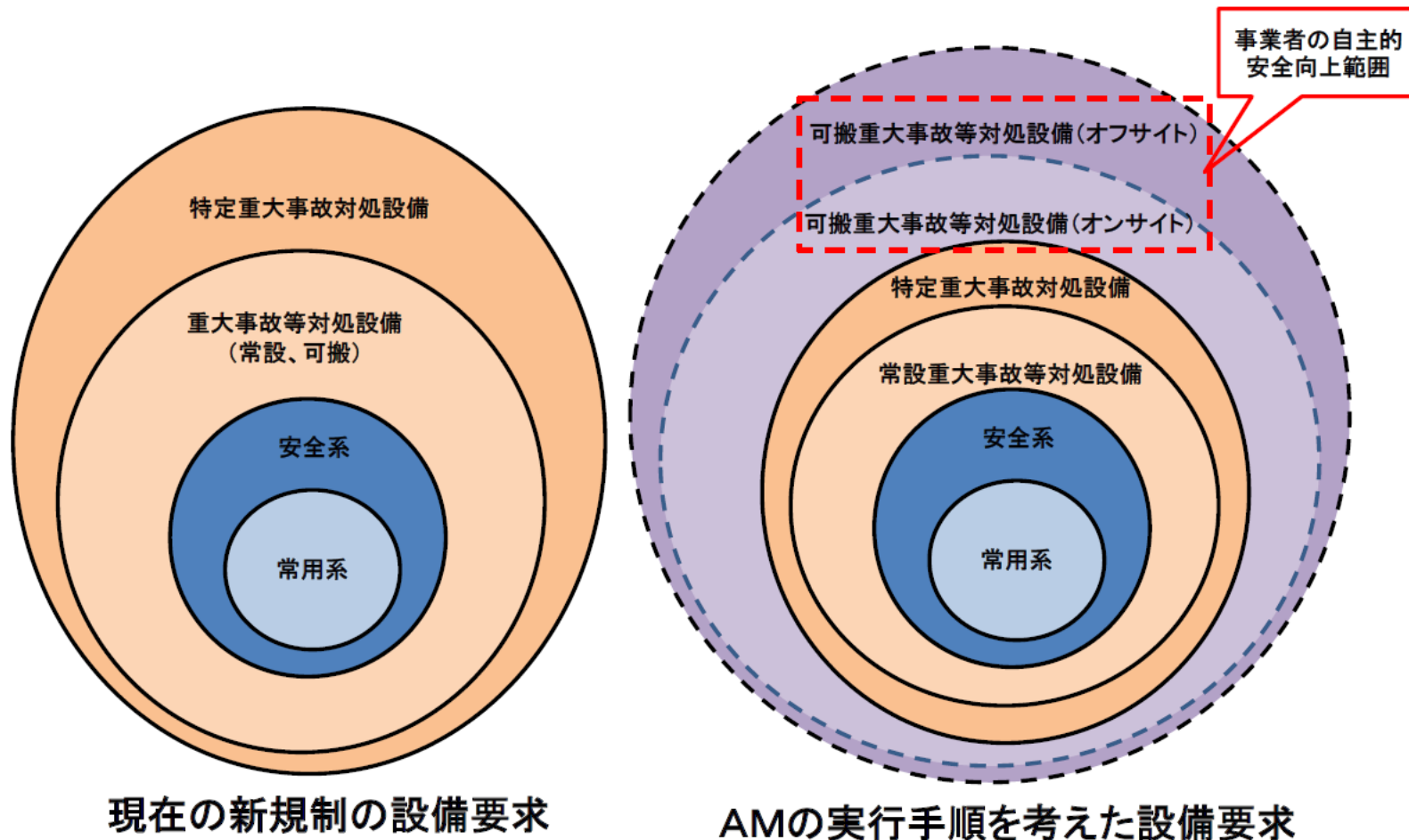


「外的事象に対する安全確保」総合討論

- ◆ 糸井先生から「外的事象に対する原子力安全の枠組み」について、そして福井様から「川内原子力発電所のその他外的事象に対するストレステスト」についてご講演いただいた。
- ◆ 本総合討論では九州電力で実施している「**継続的安全性向上**」について、今後検討すべき課題はないかを福井様からご紹介頂き、議論の口火としたい。
- ◆ さらに、現在安全部会内のWGで議論を進めている以下の論点(2018/11/2のFUセミナー論点と同様)を中心に、参加者の皆さんから今後継続的に安全性向上を行う上での問題意識(と今後取るべき対応)を提起をいただき、議論したい。
 - **設計の想定を超える規模の外的事象に対する備えはどのようなものであるべきか？**
 - **多様な外的事象に対して、どの程度の規模までを設計基準として想定し、また、緊急時の人的・組織的対応として備えるべきか？**

(議論のためのたたき台)

「設備を頑健にしさえすればよいという発想は、リスクマネジメントの観点から不適切である」との認識に基づく「AMを実効的にするための設備のあるべき姿(案)」(2018/11/2のFUセミナー、守屋副部長資料)



AMを実効的にするための設備のあるべき姿(案)